



【重点取り組み】

「親子のこころの健康を地域で支える健康づくりに取り組みます」

乳幼児期からのより良い家族関係を築くために、親の子どもへの接し方のスキルを高める新たな事業を検討します。また、地域で孤立することなく子育てするために、父親への支援を行うこと、地域住民・関係機関と一緒に地域の特性に合わせた「子育てしやすいまちづくり」を行うことを、地域ごとに実施している地域会議\*（地域情報交換会等）を中心に推進します。

1. 子育てしやすいまちづくりについて

地域子育て支援センター子育てアドバイザー（保育士）と母子保健課保健師を中心に、地域の現状や特性に合わせた活動をすすめています。

地 域	開催回数 (情報交換会)	主 な 取 り 組 み 内 容
阿 蘇	4 回 (1 回)	次の親になる世代への支援として、平成 27 年度に取り組んだ「子育て中の親子と中学生の交流会」について、平成 28 年度も阿蘇中学校に説明、ボランティアの募集についても依頼した。母子保健推進員の勉強会をトップスで開催し、子育てアドバイザーと地域の特性を確認し情報を共有した。2 月に開催された情報交換会では、米本団地の地区特性を紹介し、トップスの有効的な利用方法について意見交換を行った。
村 上	6 回 (1 回)	たんぼぼ便りを幼稚園や保育園、民生委員会、支会に配布し、平成 28 年度の初めには、民生委員と支会の定例会に出席している。 情報交換会では、各機関の子育て支援に関する取り組みや課題と感じていることを相互に共有することを目的に行った。困っている事案が出され、参加者の中で出来ることがないか話し合った。解決には至らなかったが、地域の支援ネットワーク作りにつながる検討がされた。
睦	3 回 (1 回)	平成 27 年度の地域情報交換会で「睦地区の子どもの安全を守る視点で考える」をテーマに地域の危険箇所等の情報を共有し地図に書き込んだが、その地図を平成 28 年度は地域子育て支援センター「つばめ」に掲示し、来所した母子や母子保健推進員からの情報を追加していった。平成 28 年度の情報交換会では「子どもの安全と防災」をテーマに新たな情報を平成 27 年度作成した地図上で確認した。今後は、作成した地図をもとに、将来的には子どもの安全や防災に役立つ成果物として、母子に渡せるものを作成したいという意見も出ている。
ゆりのき台 大和田新田下区	4 回 (1 回)	大和田地区とゆりのき台地区で合同情報交換会を開催し、子育て世代の事例をもとにグループワークを行った。また、ゆりのき台、大和田新田下区の母子保健推進員の勉強会をすてっぷ 21 大和田で開催し、子育てアドバイザーと共に地域の特性について話し合った。その勉強会后、地域交流の一環として母子保健推進員が 4 か月児赤ちゃん広場や大和田新田下区公会堂の遊びと交流の広場に参加し、地域の母子と交流した。
大和田	3 回 (1 回)	母子保健推進員より平成 28 年度は防災をテーマに取り組みみたいとの提案あり。おさんぼマップをもとに防災マップの作成に取り組んだ。また、平成 27 年度に続けてすてっぷ 21 大和田の子育てアドバイザーを中心に、大和田支会まつりへ防災ブースを出展。災害時授乳スペースに使える簡易テントの組み立てや新聞紙で作るスリッパの体験を提供した。
高 津	8 回 (1 回)	6 月に高津地区民協定例会に参加し、活動紹介を行った。10 月には母子保健推進員の協力のもと「高津のお散歩」を実施。11 月に情報交換会を開催し、「震災時、子育て家庭への支援をどうする？」をテーマにグループワークを実施。身近な人（まずは近隣の人から）と日頃からの声かけを通じた交流や、防災の準備をすることの必要性について確認することができた。

緑が丘	3回 (1回)	緑が丘地区の開発が進んでおり、今後も転入者が多くなる。情報交換会では孤立しがちな母たちの支援について、世代間交流の視点からアプローチできないかということで意見交換を行った。今後、利用の多い「遊びと交流の広場」で母たちと地域住民をつなぐ支援を検討していく。
八千代台	11回 (1回)	支会や自治会などが主催している世代間交流を目指したイベントへの協力参加を継続的に実施。今後、やちよ元気体操応援隊の協力を得た、地域子育て支援センターあいあいのお楽しみ会の企画を検討している。また、「八千代台地域活性化人づくりまちづくり事業」の推進体制として発足した八千代台まちづくりプロジェクトと、八千代台地区の特性の確認や子育て支援についての情報共有を行った。
勝田台	13回 (1回)	平成28年度は防災をテーマに世代間交流を目的に「お話し会」を行った。「お話し会」に参加した人たちと、11月の勝田台地区防災訓練で使用する掲示物を一緒に選ぶ等の作業をし、11月の防災訓練でブースを出展、地域の人たちに紹介を行った。 2月の情報交換会では「今の子育て」をテーマにグループワークを行った。

\* 地域会議とは、「子育てしやすいまちづくり」の実現にむけ、関係機関や住民組織が集まり、情報交換や課題を検討し実践する会議です。現在9つの地域会議（地域情報交換会）が持たれています。



▲八千代台地区の情報交換会の様子



## 2. 親の子どもへの接し方のスキルを高める事業について

地域子育て支援センターと母子保健課で構成する子育て学習講座プロジェクトチームにおいて、話し合いを重ね、講座を行いました。

子育てにおけるコミュニケーションを具体的に学ぶことを目的に、言葉でのやりとりができる2歳児前後を持つ親を対象として、この時期の子どもの行動の見方や対応について、具体的に学べる事業として「子どもとのグッとコミュニケーション」～子どもにわかりやすい伝え方・ほめ方・叱り方について～を試行。

- 講座の開催実績

子どもとのグッとコミュニケーション (2回コース)	子ども支援センター すてっぷ 21 大和田	参加者数：1回目 3名 2回目 2名
	子ども支援センター すてっぷ 21 勝田台	参加者数：1回目 4名 2回目 3名

- プロジェクト会議の開催 15回開催

## 3. 夫婦で子育て（父親への支援）について

地域子育て支援センターと母子保健課のメンバーで構成する“夫婦で子育て（お父さんの子育て参加）”プロジェクトチームにおいて、引き続き検討を行いました。

平成28年度は、母子保健事業や地域子育て支援事業への父親の参加状況把握を行い、父親への効果的な情報発信について、すこやか親子部会での協議や父親向け事業実施時のアンケート結果をもとに検討しました。来年度は父親が子育てを楽しむために必要と思う情報について、父親の手に渡るような情報発信について検討しています。

- プロジェクト会議の開催 5回開催

## 【その他の主な取り組み】

### 1. 子どもの食育に関する取り組み

「食を通じて子どもの社会性と食の自己管理能力を身につけ、しなやかな身体、豊かなところを育てます」

本取り組みは「やちよ食育ネットワーク協議会」が行う事業と、母子保健・子育て支援事業を中心に進められている事業の2本柱で推進しています。

#### (1) やちよ食育ネットワーク協議会が行う事業

##### ◇食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の実施

農業生産者と関わりのある食育授業を小学校全校で実施することを目指して、平成24年度より食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」を実施。本事業は小学3年生を対象に、人参・ねぎ・梨・ほうれん草・酪農のいずれかの農業生産者が学校に訪問し、農業生産者・学級担任・栄養教諭等の連携で授業を行いました。

平成28年度においては、「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」調査において、農業生産者の協力を得て行う食育授業を実施する予定がないと回答した13校に、コーディネートを実施しました。学校によっては、本事業の前後に発展的な取組も実施されています。



▲小学校での授業の様子。写真媒体を用いて人参の生産・出荷等について説明する農業生産者

- ・やちよ食育ネットワーク協議会・分科会合同会議 1回開催
- ・やちよ食育ネットワーク協議会 分科会会議 1回開催
- ・やちよ食育ネットワーク協議会 1回開催

##### ◇「学校での食育を推進するための学習会」の開催（平成28年7月22日）

農業生産者・小学校教諭・栄養教諭及び学校栄養職員・やちよ食育ネット分科会委員を対象に、市内小学校の食育推進のための学習会を開催しました。食育推進事業「めざせ！食の達人 農業の先生とのふれあい授業」の事業説明や、農業生産者・学級担任による授業展開の紹介、学校独自の食育の取り組み等の事例発表を行いました。

#### (2) 母子保健・子育て支援事業を中心とした食育

妊娠期からの継続した食育事業を展開しています。

◇妊娠期・・・妊婦に対しての食育（プレママ教室参加154名）

◇乳児期・・・4か月・10か月児赤ちゃん広場事業での食育（参加者2,504名とその保護者）

◇幼児期・・・もうすぐ1歳半おやこ広場での食育（参加者717組とその保護者）、「みんなで食育事業」注1での食育（41回実施 参加者親子568名）、公民館・サークルからの依頼による出前食育講座（4回実施 参加者46組）、子育て応援ポケット事業での食育（相談人数58名 リーフレット配布枚数（4,986枚）

注1 みんなの食育事業とは：食を通じて生活力や育児力をつけることを目的に地域参画型・体験型で行う事業

## 2. 思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切に、生と性の課題について適切に対処します」

本取り組みは平成 18 年度に発足した八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に医師、助産師、学校関係者、保護者、NPO 法人などのメンバーで推進しています。

### (1) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

平成 28 年度は計 4 回の会議を行い、「思春期の生と性」の活動について検討しました。

### (2) 思春期保健シンポジウムの開催

保護者が生と性の課題をはじめとした思春期保健の重要性を認識し、各家庭での取り組みに繋げることを目的に、平成 19 年度より思春期保健シンポジウムや研修会を開催しています。

#### 思春期保健シンポジウム「10代の生と性」X

講演：「あなたのお子さんが被害者かも・・・」～スマホの恐さについて～

平成29年  
1月29日(日)



▲講師の上條理恵氏

10 回目を迎えた平成 28 年度の思春期保健シンポジウムは、市川警察署生活安全課少年係 上席少年補導専門員の上條理恵氏をお招きし、子どもたちを取り巻くスマホの現状とトラブルや、保護者としてできることについて講演を行いました。

当日は 70 名の参加があり、参加者のアンケートからは「ルール作りの大切さ、親子の会話・対話の大切さを再認識した」「進化していく時代に親世代がついていけないことを実感した」等の感想が聞かれました。

### (3) 中学生向けリーフレットの配布

性に関する正しい知識を得られるサイトや相談機関を掲載した「中学生向けリーフレット」を、中学 1 年生・3 年生及びその保護者を対象に配布しました。



### (4) 「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の評価アンケートの実施（作業部会）

平成 25 年度に作成した「八千代市オリジナル生と性の教育教材」の活用等について評価をするため、各市立中学校にアンケートを実施し、中学 3 年生の「性感染症の予防」「エイズの予防」の授業の現状やオリジナル教材の活用状況について確認しました。

アンケートの結果、平成 27 年度の授業の実施は 11 月と 2 月の年度後半が多く、授業媒体は教科書のみ他、オリジナル教材との併用、オリジナル教材のみを使用した学校もありました。オリジナル教材を使用した学校からは「分かりやすい」「使いやすい」との評価を得ており、今後活用する予定の学校も増えている現状です。



### (5) 思春期保健ネットワークニュースレターの発行

保護者や教員を対象に、思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的とし、思春期保健シンポジウムの報告を中心としたニュースレターを発行しています。

(平成 29 年 3 月 第 15 報発行)